

《担当者名》教授 / 岡崎 克則

【概要】

細菌、真菌、原虫、ウイルス感染症について、その病因、病態、診断法および予防・治療法を学ぶ。感染症対策について学ぶ。

【学修目標】

主な感染症の病因、病態、診断・予防法を説明できる。

結核化学療法を説明できる。

ウイルス化学療法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	細菌感染症(1) 教科書：p200-212	グラム陰性通性嫌気性桿菌について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)-	岡崎 克則
2	細菌感染症(2) 教科書：p194-199, pp190-194	グラム陰性好気性桿菌および球菌について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)- ,	岡崎 克則
3	細菌感染症(3) 教科書；p213-214, pp216-219	スピロヘータ、らせん菌群、グラム陽性球菌について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)- ,	岡崎 克則
4	細菌感染症(4) 教科書：p1-31	無芽胞性および芽胞形成性グラム陽性桿菌について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)-	岡崎 克則
5	細菌感染症(5) 教科書：p220-226	抗酸菌感染症について概説できる。 マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア感染症について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)-	岡崎 克則
6	DNAウイルス感染症 教科書：p274-285	ポックス、ヘルペス、アデノ、パピローマ、パルボウイルス感染症について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)- ,	岡崎 克則
7	RNAウイルス感染症(1) 教科書：p391-394	オルトミクソ、パラミクソ、ラブド、フィロ、ブニヤウイルス感染症について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)-	岡崎 克則
8	RNAウイルス感染症(2) 教科書：p402-411	レオ、ピコルナ、カリシ、コロナ、トガ、フラビウイルス感染症について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)- ,	岡崎 克則
9	レトロウイルス感染症 ウイルス性肝炎	HIVおよびHTLV感染症について概説できる。 ウイルス性肝炎について概説できる。	岡崎 克則

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	教科書：p412-418	関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)- ,	
10	真菌感染症 寄生虫感染症 教科書：p220-226	真菌感染症について概説できる。 原虫および蠕虫感染症について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C8-(4)- , 、 D1-(2)-	岡崎 克則

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験により評価する（100%）。また、定期試験後には解説講義を実施する。

【教科書】

「みてるわかる薬学 図解 微生物学・感染症・化学療法」 藤井暢弘、山本友子編 / 南山堂

【学修の準備】

予習としては、次回の授業範囲の教科書を読み、理解しておくこと（50分）。

復習は、教科書、プリント、講義メモを活用し、学習を深めること（50分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

C5 自然が生み出す薬物

(2)薬の宝庫としての天然物 【 微生物由来の生物活性物質の構造と作用】

C8 生体防御と微生物

(4)病原体としての微生物 【 感染の成立と共生】【 代表的な病原体】

D1 健康

(2)疾病の予防 【 感染症とその予防】【 母子保健】

(3)栄養と健康 【 食中毒と食品汚染】

E2 薬物治療

(7)病原微生物（感染症）・悪性新生物（がん）と薬 【 抗菌薬】【 抗菌薬の耐性薬】【 細菌感染症の病態、薬、治療】

【 ウイルス感染症およびプリオン病の病態、薬、治療】【 真菌感染症の病態、薬、治療】

【 原虫・寄生虫感染症の病態、薬、治療】

【薬学部ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。